

**緊急
情報****葉色が急激に低下！
確実な穂肥・追肥で酷暑を乗り切ろう！**

- ・ 高温の影響で、葉色が大きく低下しているほ場があります。
- ・ 今夏は「気温がかなり高くなる」と予報されています。

1 7月25日現在のコシヒカリ生育状況（拠点9地点平均、移植日平均5月9日）**葉色は著しく低下**：前回(7/18)からの葉色低下は-3.8ポイント（目標は-0.5ポイント）

区 分	本 年 値	目 標 差	前 年 差
葉色 (SPAD)	31.9	-0.6	+1.0

2 コシヒカリの管理ポイント

8月の気象は高温予報のため、登熟期の稲の消耗が懸念されます。必ずほ場の葉色を確認して、適切な穂肥施用で後期栄養を確保しましょう。

(1) 一発肥料の場合： 葉色低下で追肥を実施

必ず葉色を確認し、カラスケール3.3以下、SPAD値30以下の場合は、「出穂期10～12日前」に追肥を行う。

(2) 分施肥体系の場合： 2回目は確実に。3回目も検討

- ・ 2回目の穂肥は生育量に関係なく確実に施用する。葉色が淡い場合は施肥量を計画から増加する。
- ・ 2回目の穂肥後も葉色が低い場合は、出穂期3～6日前に葉色を診断して3回目の穂肥を検討する。

- 葉色、施肥量の判断に迷う場合は、JA や普及センターに御相談ください。
減減栽培で化学窒素肥料を使用する場合は、基準超過に御注意ください。

3 水管理

- ・ 高温条件で長期湛水すると根腐れにつながるので、飽水管理等を行う。
- ・ 異常高温や強風・フェーンとなる場合は一時的に湛水し、急激な脱水による障害を防止する。

これから高温が続きます。農作業を行う際は高温の時間帯を避け、涼しい時間帯に行うなど熱中症にならないように注意しましょう。